



スマイル! TOGO

自分らしく生きる力を身につけ、なかまとたくましく歩む子

昨年度成果と課題から、リニューアルしました！
令和5年度東郷小スクールプランについて、説明いたします。
校長 出口 津代子

福井市東郷小学校 学校だより
令和5年5月1日 第3号
TEL 41-0003 FAX 41-0974
Mail togo-e@fukui-city.ed.jp

★自分らしく生きる力を身につけて「**自走する人**」「**自分でやる人**」に
★なかまとたくましく歩む力を身につけて「**共歩する人**」「**みんなでやる人**」に

令和5年度 福井市東郷小学校 スクールプラン

東郷っ子につけたい4つの力「たくましさ」は今年度も継続してつけていきます。児童から「今の授業は、②③の力をつけるためにやっているんだな」の声、教職員からも「この授業は、④の力につながっていくからね。大事だよ!」の声がどの教室からも響いてきています!!

育っていくために、今年度東郷小の全教育活動を実践します。
昨年度末の教職員振り返りや今年度教職員全員の意見から「みんなが笑顔の学校」とはどんな場か、まとめました。

学校教育目標を達成するための重点目標を3つ決めました。「具体的な取組」を実践する中で子どもに力がつき、「数値目標」も達成できるようにしていきます。(学校評価は7月と12月の2回実施します。)

東郷っ子みんなで
支え合う仲間作り

- 異学年交流や全校児童での活動力を活性化します。実施にいたるまでの過程(準備段階)も含めた全ての経馬で、4つの力をつけます。
- 昨年11月に行った創立150周年式典、全校児童・教職員で歌い上げた経馬は、今でも私たちの大きな力となっています。今年度も、「歌う」ことを通して一体となり、達成感をみんなでお楽しみしたいと思います。
- 日常的にソーシャルスキルトレーニングなどで人間関係づくりのスキルを身につけていきます。

【目指す学校の姿】「スマイル! TOGO(とうごう)」
児童・保護者・教職員みんなが笑顔の学校
児童:「わかった!」「自分らしくいられる場所」
保護者:「子どもが楽しい、好きな場所」「相談できる」
教職員:「子どもの笑顔」「子どもの成長を応援する場」「チームワーク」「自分や家庭を大切にできる」

学校教育目標 自分らしく生きる力を身につけ、なかまとたくましく歩む子の育成

東郷っ子につけたい4つの力「たくましさ」

③自分の考えをもち、語る力 ④失敗を恐れず、挑戦する力

①自分を知り、すきになる力 ②人を大切にして、関わっていく力

「①②の力を全ての土台とし、③④の力を身につける」ことを実践する東郷小

【福井市学校教育目標】
郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子どもの育成
【福井市学校教育方針】 学びをつなぐ・未来につなげる
【「つながる」を大切にしたい東郷小づくり】
「わかる授業づくり」と「居場所づくり・絆づくり」、
「キャリア教育の充実」と「家庭・地域」をつなぐ

重点目標
東郷っ子みんな支え合う仲間作り
(1) 得意は認め、苦手は励ます関係づくり
(2) 歌声の響く学校づくり
(3) 人間関係づくりのスキルを学ぶ

「自分の考えを、自分なりの方法で、発信・実行する児童」
(1) 特別活動の「学級活動」を児童主体の時間・場に
(2) 生活・総合的な学習を核とする年間指導計画と実施で力をつける
(3) 地域資源(人材)と繋ぎ、キャリアデザインの場合に

丁寧な支援と丁寧な説明で応える学校
(1) 個に応じた支援NO.1の東郷小
(2) 地域と歩む安全教育
(3) ワクワク! TOGO つながる大作戦

丁寧な支援と丁寧な説明で応える学校

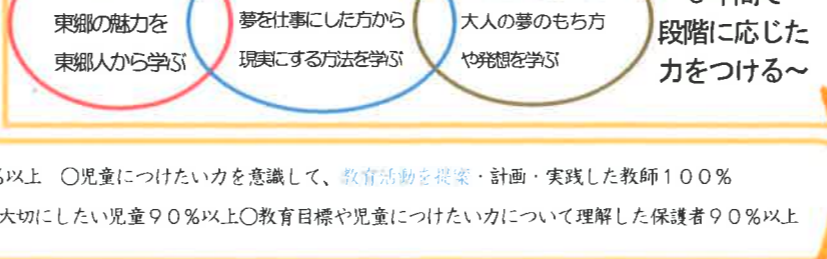
具体的な取組
(1) 縦割り交流の活性化
アフターコロナ、縦割り交流活性化で「小さい子にやさしくする」「上の子にやさしくしてもらう」経験を幾重にも積み重ねる。
(2) 歌でお互いを高め合い、尊重し合う
クラス・学年・全校で、一体となる経験を味わう。(創立150周年で得た力を継承)
(3) SST、SGEでスキルアップ
人付き合いのスキルや人間関係づくりを積み上げる。

(1) 児童が、学校生活での自分たちの課題を自分たちで解決する
「生徒指導(ルール)」「安全」「食」「保健」「異学年交流」等の課題を、児童の実態や現状や年間行事等と絡めて学級・学年・全校で考え、「自分たちで気づき、決め、実行する児童集団」を目指す。
(2) 全教科・領域をつないで力をつける教育活動の展開と説明
「総合的な学習の評価項目」と「メディアリテラシー」を明示。全教科・領域でつける力として教育活動を展開、学習効果の最大化を図る。児童・保護者に、ついた力について説明する。
(3) 地域資源と東郷っ子を繋ぐ教育活動の展開→身近な課題に気づき、探究へつなぐ
～6年間で段階に応じた力をつける～

(1) チーム対応で児童に必要な支援に繋ぐ
担任・学年 特コ・教育相談
教科担任 生徒指導 管理職
→全方向からの気づきと即相談 0日目から
→保護者・外部との連携
→具体支援&改善
・教科担任制を各学年で(発達段階に応じて)
(2) 児童・PTA・地域と共に「学校安全」を考える
・避難訓練等の安全教育を保護者に開放
・「東郷安全マップ」を児童とPTAで作成
(3) 東郷小の魅力発信 ～学校だより・HP等で～

「わかった!」「～やってみよう!」「楽しい!」が児童から出てくる授業づくりに引き続き努めます。担任一人ではなくチームで子どもを見守り、支援します。特に、児童の困り感にはいち早く気づき、具体支援へ向け必要な連携を行っていきます。
・学校安全の取組をオープンにし、ご意見をいただきます。PTA・地域と連携、児童と共に「東郷安全マップ」を作成します。

数値目標
○自他を大切に認め共に取り組んでいる児童90%以上
○最後まで意見をはっきり話す児童85%以上
○自分たちの課題に気づいたり、取り組んだりしている児童80%以上
○児童につけたい力を意識して、教育活動を提案・計画・実践した教師100%
○将来の夢や目標をもっている児童85%以上○郷土福井(東郷)を大切にしたい児童90%以上○教育目標や児童につけたい力について理解した保護者90%以上



○学校が楽しいと答える児童91%以上
○学校の考えが適切に伝えられていると感じる保護者90%以上
○安全面を指導していると感じる保護者85%以上
○学校全体で児童理解・支援につなげたと思う教師100%
※昨年度より目標数値を上げたものは赤字、文言変更は青字で

「自分の考えを、自分なりの方法で、発信したり実行したりする児童」
・学校は「社会」でもあり、学校生活のいたる場面に「課題」は存在しています。それが児童の課題であるならば、「児童が自分たちで気づき、どうしたらよいか考えて決め、自分たちで決めたことを実行していく」ようにもっていきたいです。その実現のため、「学級活動力」の時間を中心に、児童が主体で考える時間・場を保障します。

・昨年度から提示している国語と算数の「ミニ通知表」に加え、総合的な学習を核とする全教科・領域でつけた力をまとめた「評価項目」と「メディアリテラシー」を明示し、つけたい力を意識した教育活動に取り組みます。ついた力について説明します。
・地域資源と東郷っ子をつなげ、様々なことを吸収します。6年間で「課題に気づき、探究する子」を育てます。

＜数値目標について＞
昨年度学校評価が向上したのについては、今年度目標の数値を上げました。また、今年度スクールプランに合わせ、言葉を変えたものもあります。

業務改善にもちゅうちょなく取り組むことで、「児童の笑顔」につながる業務に全力で向き合い、実行します。

ご理解をいただき、ありがとうございます。